

## LAMA と緑内障について

LAMA(長時間作用型抗ムスカリン薬：スピリーバなど)は COPD のキードラッグ、喘息の補助薬として繁用されていますが、その抗コリン作用が懸念されて処方避けるケースがあります。

代表的には「閉塞隅角緑内障」と「前立腺肥大症に伴う排尿障害」です。

今回は緑内障の対応について話を進めていきます。

### ●緑内障と閉塞隅角緑内障

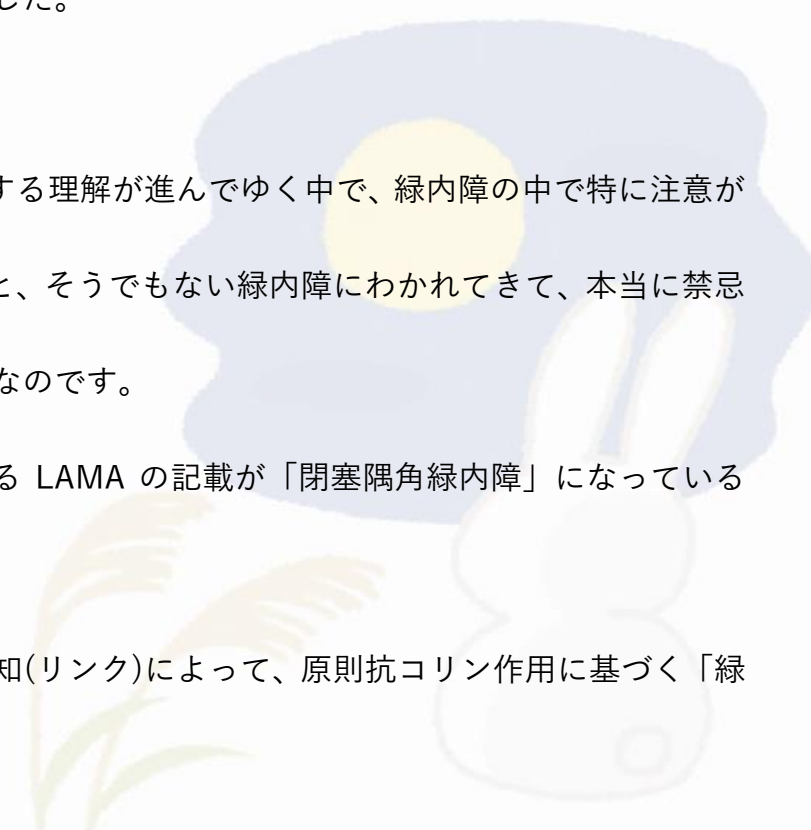
以前は添付文書を読むと薬剤によって「緑内障」と記載されているものと「閉塞隅角緑内障」と記載されているものがありました。

これはどういうことでしょうか？

結論から言うと、これは副作用に関する理解が進んでゆく中で、緑内障の中で特に注意が必要な（本当に禁忌にすべき）緑内障と、そうでもない緑内障にわかれてきて、本当に禁忌にすべき緑内障が「閉塞隅角緑内障」なのです。

そのため、比較的近年承認されている LAMA の記載が「閉塞隅角緑内障」になっている傾向がありました。

そして、2019年6月18日薬生安通知(リンク)によって、原則抗コリン作用に基づく「緑



内障（及び、狭隅角緑内障）」の記載は「閉塞隅角緑内障」に改めることになり、現在流通している薬剤は原則として「閉塞隅角緑内障」の記載になっていると思われます。

吸入薬について確認したところ、2019.9.10 現在、SAMA(短時間作用型抗コリン薬)も含めて全て「閉塞隅角緑内障」に記載が変更されていました。

### ●緑内障の種類

緑内障には大きく分けて「開放隅角緑内障(≒正常眼圧緑内障)」と「閉塞隅角緑内障」に分かれます。

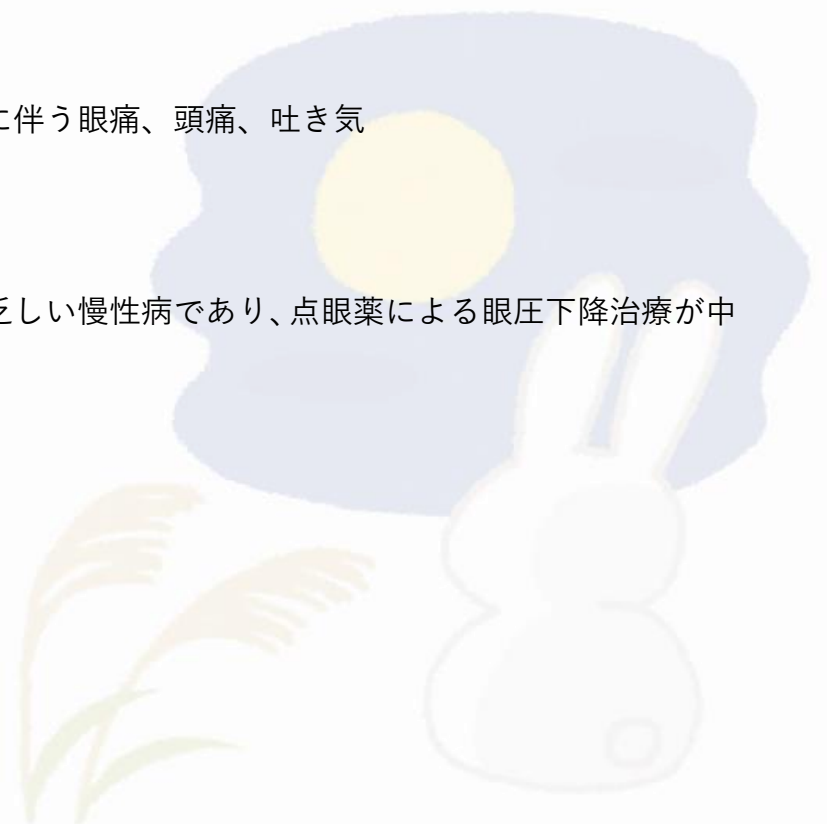
(その他、続発緑内障と発達緑内障がありますが今回はあまり関係ないので触れません)

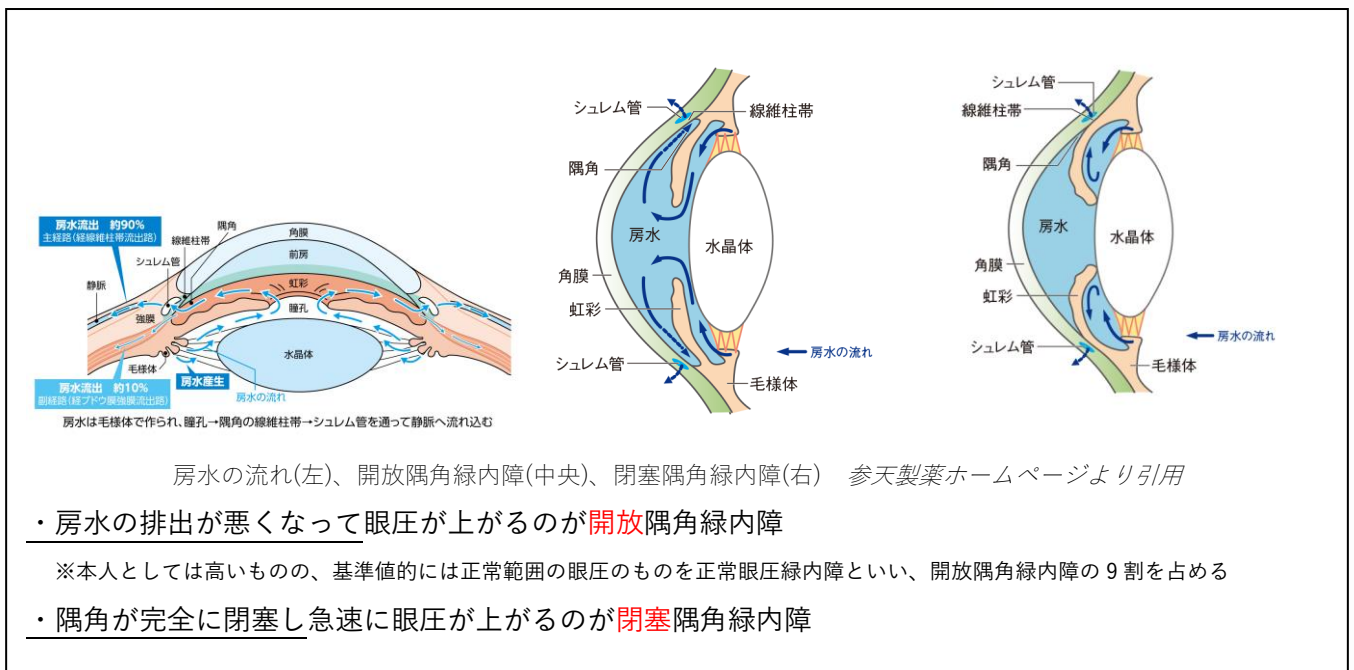
隅角が”開放”しているか”閉塞”しているか、が大きなポイントですね。

隅角の部分が閉塞し、房水が流出することができなくなり、眼圧が急激に上がっているのが(急性)閉塞隅角緑内障であり、諸症状を伴い手術の適応になります。

急性閉塞隅角緑内障の症状：眼圧上昇に伴う眼痛、頭痛、吐き気

一方で開放隅角緑内障は自覚症状の乏しい慢性病であり、点眼薬による眼圧下降治療が中心になります。





抗コリン薬は隅角の収縮を強める可能性があるため、緑内障の症状を悪化させる可能性があり、特にその影響がシビアな閉塞隅角緑内障で禁忌となっています。

とはいえ、吸入薬は気道を通じて患部へ直接作用するものであり、体内への吸収率・投与量から全身への影響は軽微ですので、緑内障の中でも開放隅角緑内障ならいたずらに避けるものではない、というのが薬生安通知の意味するところでしょう。

### ●吸入指導(支援)の現場における「閉塞隅角緑内障」の対応

結論から先に言うと、薬局の窓口で吸入薬の投薬を受けに来ているような方は緑内障だとおっしゃっていても、ほぼ「開放隅角緑内障」であると考えてよいと思います。

疫学的にも緑内障の大部分は開放隅角緑内障(≒正常眼圧緑内障)であること、また前述のように閉塞隅角緑内障は手術治療の適応であり、点眼薬は手術までのつなぎ治療です。お薬手帳に緑内障の点眼薬の記載があって、「近く手術する」などと言われたらわかりませんが、

年余にわたって点眼薬で管理されているような方は「開放隅角緑内障」と考えてよいと思われます。

LAMA が処方された緑内障患者への指導としては、眼科通院時に「抗コリン薬を含む吸入薬が開始されたことを話すこと」、「閉塞隅角緑内障ではないことを念のため確認すること」が妥当だと思われます。

トレーシングペーパーのような緊急性のない情報提供方法が整備されている医療機関に対しては、緑内障を聞き取ったこと、おそらく開放隅角緑内障であり、眼科受診した際に確認するよう情報提供した旨伝えていただけると吸入薬を処方した医師としてはありがたいと思います。

閉塞隅角緑内障の既往についてはどうでしょうか？

日本ベーリンガーに確認したところ、手術治療によって閉塞要素が解除されたかによる、とのことでした。「緑内障で手術したばかり」という方にはもう少し慎重な対応が必要かもしれません（早めに眼科に確認していただくなど）。

## ●まとめ

LAMA は COPD/喘息の治療でも重要な薬剤であり、いたずらに緑内障だから全て中止させるのではなく、使える方には使っていただけるよう上手に支援していきたいです。

(文責 埼玉県立循環器・呼吸器病センター 杉田英章)

参考資料：

緑内障一般向け解説(日本眼科学会)

[http://www.nichigan.or.jp/public/disease/ryokunai\\_ryokunai.jsp](http://www.nichigan.or.jp/public/disease/ryokunai_ryokunai.jsp)

緑内障診療ガイドライン第4版(日本眼科学会)

<http://www.nichigan.or.jp/member/guideline/glaucoma4.jsp>

190618 薬生安通知

「抗コリン作用を有する薬剤における禁忌「緑内障」等に係る添付文書の「使用上の注意」改訂について」

<https://www.pmda.go.jp/files/000229974.pdf>